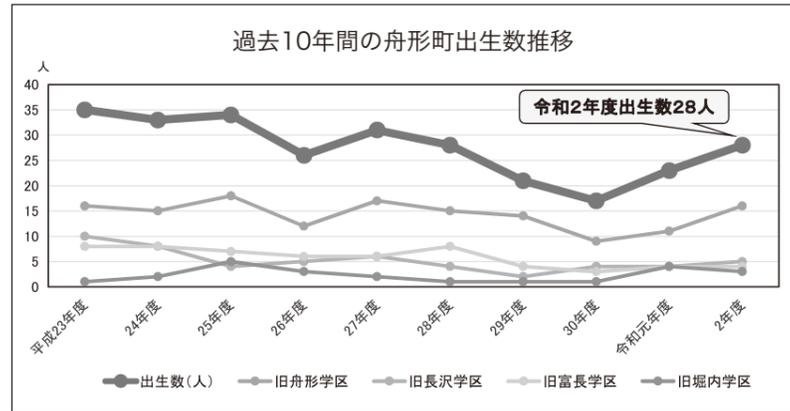




荒澤 広光 議員

子育て支援事業の継続・更なる充実を

魅力ある学校づくりを継続していく



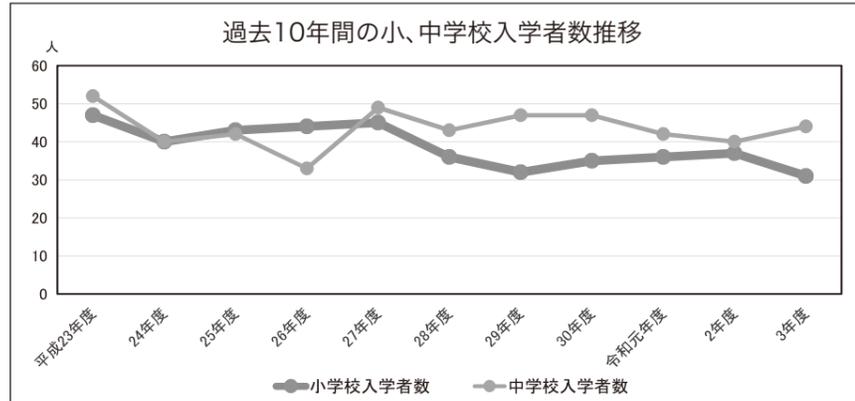
質問 舟形町の人口は、平成24年と比較して1086人、17.7%減と減少が進んでおります。出生数に関しては、10年前と比較し減少はしているものの、ここ数年は増加方向に転じているのが現状です。

入学人数の減少は鈍化しています。町では、子育て保健福祉サービスとして、様々な支援を行っておりますが、今後も支援事業を継続していくことは可能なのでしょうか。子供は町の宝であります。新たな支援で出生数の増加、人口減少が少なくなるように、小中学校入学時の新

一方、町の宝である子どもたちを守り、育てるため、学校活動の支援と

質問 中学3年間で体格が大きくなり着られなくなった子どもたちのため、

町長 中学生のための制服のリサイクルについては、保護者や母親委員会と相談して現状を調査いたします。



学校が窓口になり、制服をリサイクルするシステムも必要だと思いますが、

たな支援も必要だと思えますが、町長の考えを伺います。

町長 町では、「少子化対策・子ども育成プロジェクト」を重点プロジェクトの一つと定め取り組みを進めています。一部を紹介すると、妊娠前から子育て期までの切れ目のない支援として、妊婦検診費用や新生児聴覚検査費用の助成、産後1年未満の母親を支援する産後ケア事業、助産師の指導によるベビーマッサージ事業や、子育て家庭の負担軽減として保育料の軽減、3歳児以上の給食費の無償化、出生祝い金として10万円の支給、高校生までの医療費の無料化、中

定例会において、各議員が住民の代表として行財政全般にわたり町当局の考え方や疑問をたずさることです。単に疑問を晴らし事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直し、新規政策を提言する、議員の重要な活動です。(本会議での持ち時間は一人40分)

荒澤 広光 議員

9ページ

★1 子育て支援事業の継続・更なる充実を



叶内 昌樹 議員

10ページ

- ★1 「持続的発展」で町の目標は
- ★2 地域プロジェクトマネージャー任用の条件は
- 3 ヤングケアラー支援の実態調査は



奥山 謙三 議員

11ページ

★1 ごみ減量化及び資源化への取組みを問う



伊藤 欽一 議員

12ページ

★1 河川公園の使用基準を明確に



齋藤 好彦 議員

13ページ

- ★1 新たな生活様式に即した移住施策を
- 2 住民避難保険での確な避難指示を



一般質問に5人が登壇

町政を問う

〈一般質問 掲載要綱〉

- 一般質問本文への掲載件数は、2件以内で3件目はタイトルのみ掲載。
- 本文の字数は、質問330字以内、答弁は550字以内のため、内容を要約して掲載。
- ★ マークのついた内容を一般質問本文へ掲載